

I. 本調査の目的

新しい在留資格の創設等の国の政策によって、今後、在留外国人の更なる増加が見込まれ、令和元年 6 月には「日本語教育の推進に関する法律」も策定される中で、日本語能力が十分でない外国人が生活等に必要な日本語能力を身につけるとともに、地域社会の一員として、コミュニティに根ざして暮らしていけるよう、関係機関等と有機的に連携して日本語教育環境を強化するための総合的な体制づくりに取り組む必要がある。

本調査では、識字・日本語に対する学習ニーズや、既存の識字・日本語教育体制の現状等について調査し、今後の識字・日本語教育体制の構築に向けた具体的な検討や、施策の実施に向けた基本的な方針の策定を行うにあたっての基礎資料とすることを目的にする。

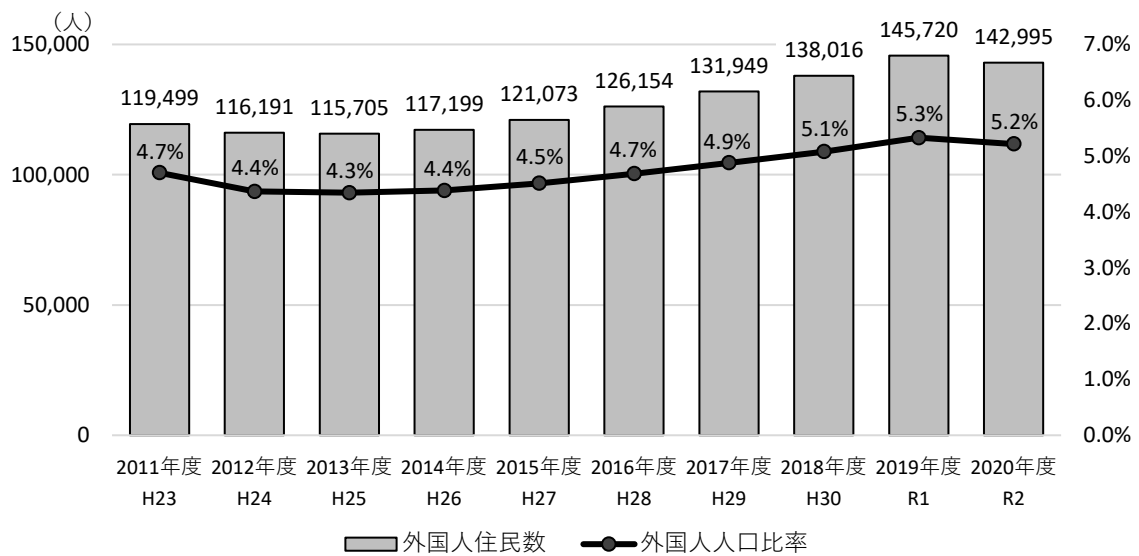
II. 大阪市の外国人の状況

1. 外国人住民数

(1) 外国人住民数の推移

大阪市の外国人住民数は、2020年度末時点で、142,995人、総人口(2,740,458人)に占める外国人比率は5.2%となっている。外国人住民数、外国人人口比率は、新型コロナウイルスの影響で2019年度末から2020年度末では減少しているが、全体として2013年度末以降増加傾向にある。

図表 1 外国人住民数の推移、外国人人口比率



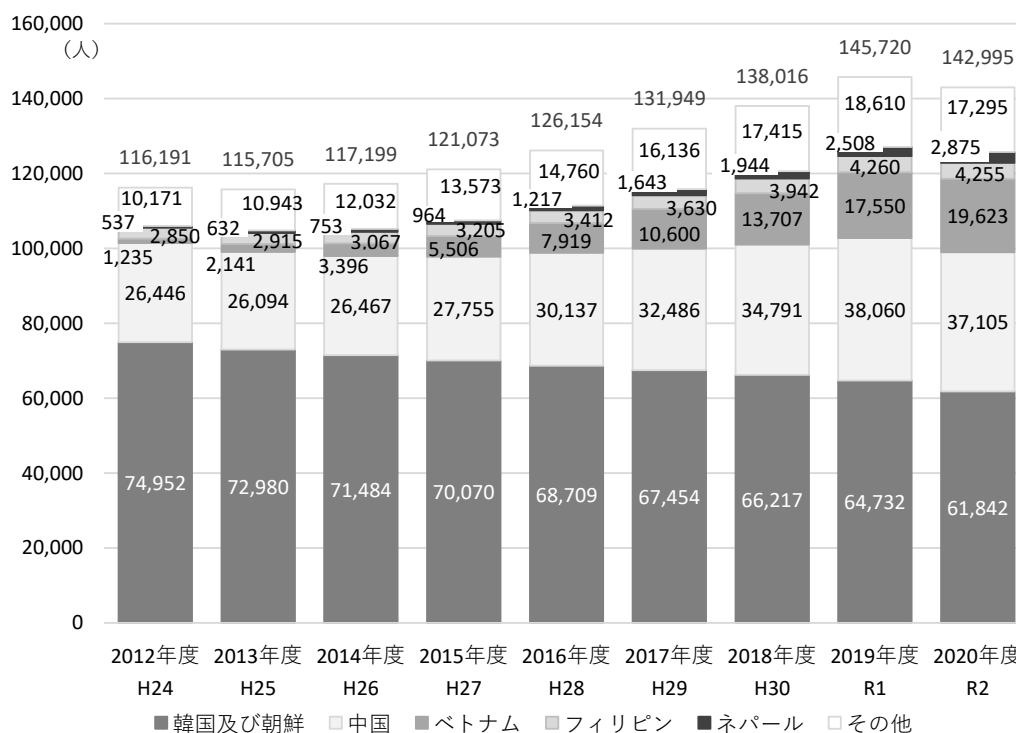
(出所) 大阪市
(時点) 各年度末時点

(2) 国籍別の外国人住民数

国籍別にみると、2020年度末時点で、韓国及び朝鮮が61,842人(43.2%)と最も多く、次いで中国が37,105人(25.9%)、ベトナムが19,623人(13.7%)となっている。この3か国で外国人住民の9割近く(87.9%)を占めている。中国、ベトナムは増加傾向にあるが、韓国及び朝鮮は減少傾向にある。

また、割合は少ないが、2020年度末時点で、外国人住民の国籍数は147か国となっており、多様な外国人住民が大阪市に住んでいる状況である。

図表 2 国籍別の外国人住民数の推移



	2012年度 H24	2013年度 H25	2014年度 H26	2015年度 H27	2016年度 H28	2017年度 H29	2018年度 H30	2019年度 R1	2020年度 R2
韓国及び朝鮮	74,952	72,980	71,484	70,070	68,709	67,454	66,217	64,732	61,842
中国	26,446	26,094	26,467	27,755	30,137	32,486	34,791	38,060	37,105
ベトナム	1,235	2,141	3,396	5,506	7,919	10,600	13,707	17,550	19,623
フィリピン	2,850	2,915	3,067	3,205	3,412	3,630	3,942	4,260	4,255
ネパール	537	632	753	964	1,217	1,643	1,944	2,508	2,875
米国	1,238	1,301	1,356	1,408	1,469	1,539	1,665	1,703	1,575
インドネシア	409	469	566	804	941	1,118	1,366	1,623	1,793
タイ	869	872	898	958	1,009	1,097	1,148	1,191	1,106
ブラジル	998	933	870	910	918	936	950	1,029	970
インド	479	471	486	498	540	594	653	761	714
その他	6,178	6,897	7,856	8,995	9,883	10,852	11,633	12,303	11,137
合計	116,191	115,705	117,199	121,073	126,154	131,949	138,016	145,720	142,995
国数	135	134	132	136	138	136	138	143	147

(出所) 大阪市

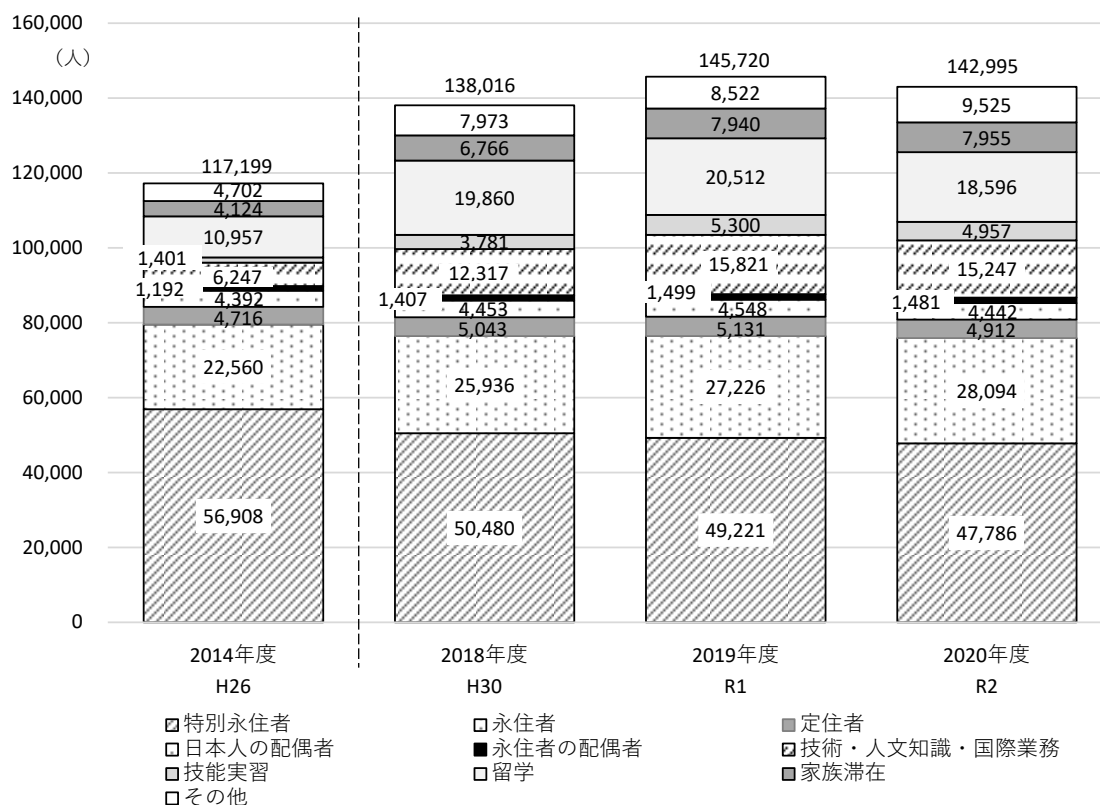
(時点) 各年度末時点 ※2011年度末の国籍別人数は公表されておらず

(3) 在留資格別の外国人住民数

在留資格別にみると、2020年度末時点では、特別永住者が47,786人(33.4%)と最も多く、次いで、永住者が28,094人(19.6%)、留学が18,596人(13.0%)となっている。

2014年度末と2020年度末を比べると、技能実習、技術・人文知識・国際業務、家族滞在が増加している。

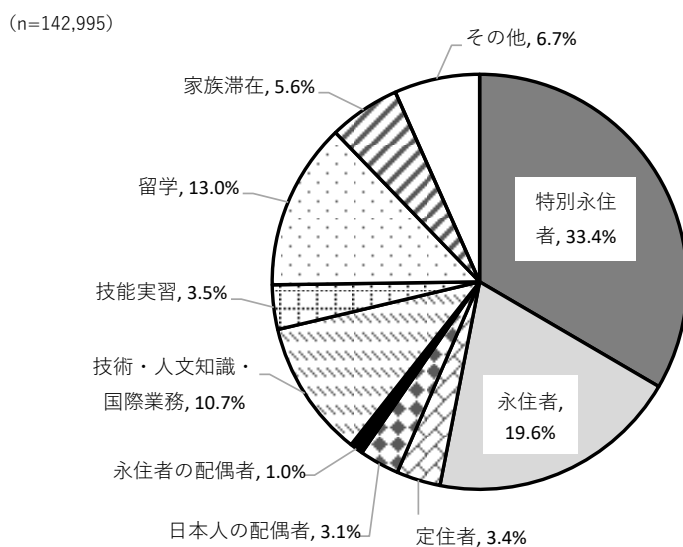
図表3 在留資格別の外国人住民数の推移



(出所) 大阪市

(時点) 各年度末時点 ※2011～2013、2015～2017年度末の在留資格別人数は公表されておらず

図表4 在留資格別の割合 (2020 (R2) 年度末)

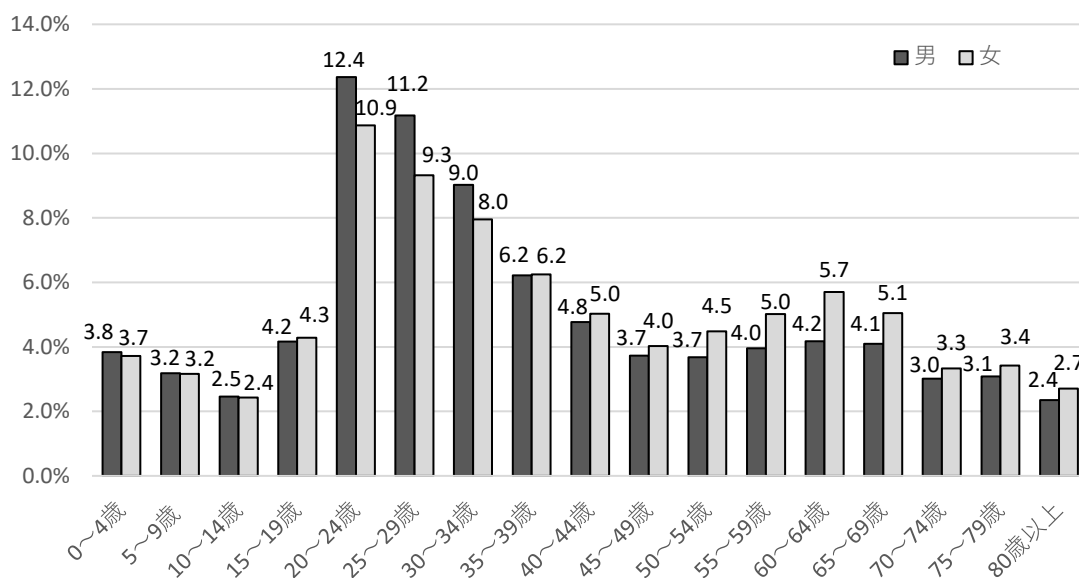


(出所) 大阪市

(4) 性別・年齢別外国人住民の割合

性別・年齢別に大阪市の総人口に占める外国人住民の割合をみると、男女ともに 20～24 歳で最も割合が高く、男性で 12.4%、女性で 10.9%となっている。20 代、30 代で総人口に占める外国人住民の割合が高くなっている。

図表 5 性別・年齢別総人口に占める外国人住民の割合



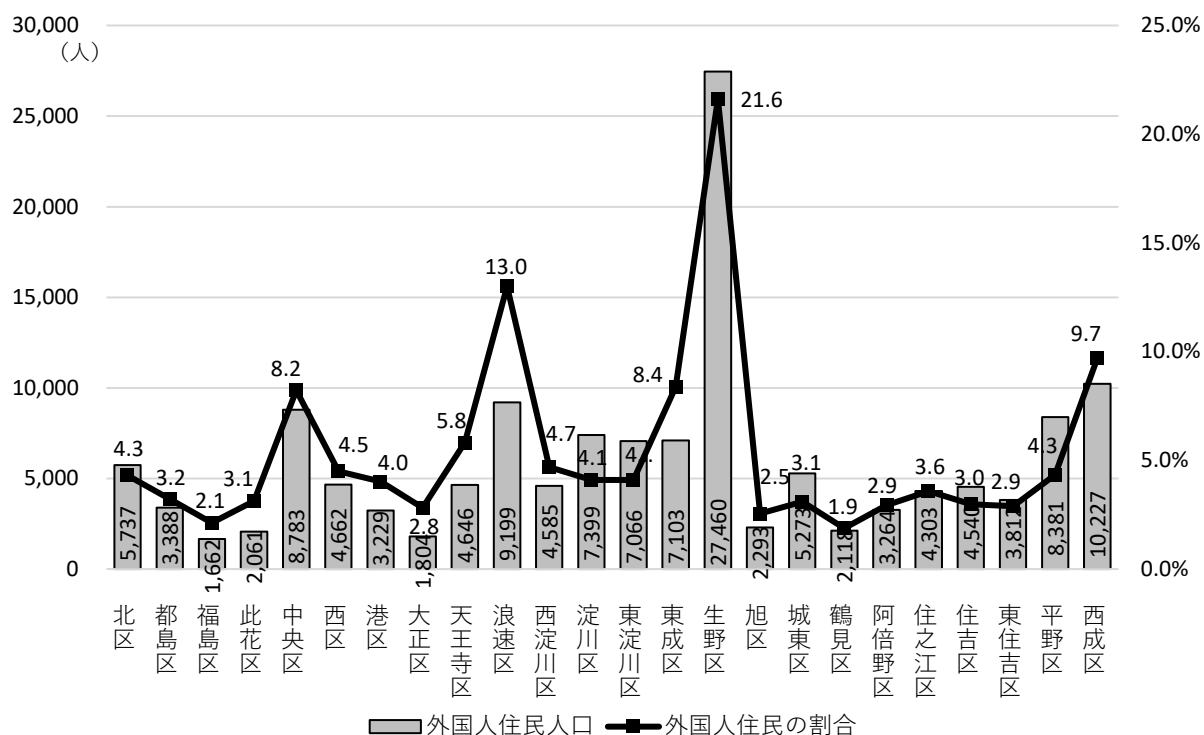
(出所) 大阪市
(時点) 2020 (R2) 年度末時点

(5) 区別の外国人住民数と割合

区別に総人口に占める外国人住民の割合をみると、生野区が21.6%と最も高く、次いで浪速区13.0%、西成区9.7%となっている。

区別で在留資格別の外国人住民の割合をみると、永住者は北区、中央区、福島区などで割合が高く、留学生は浪速区、西成区、阿倍野区などで割合が高い。

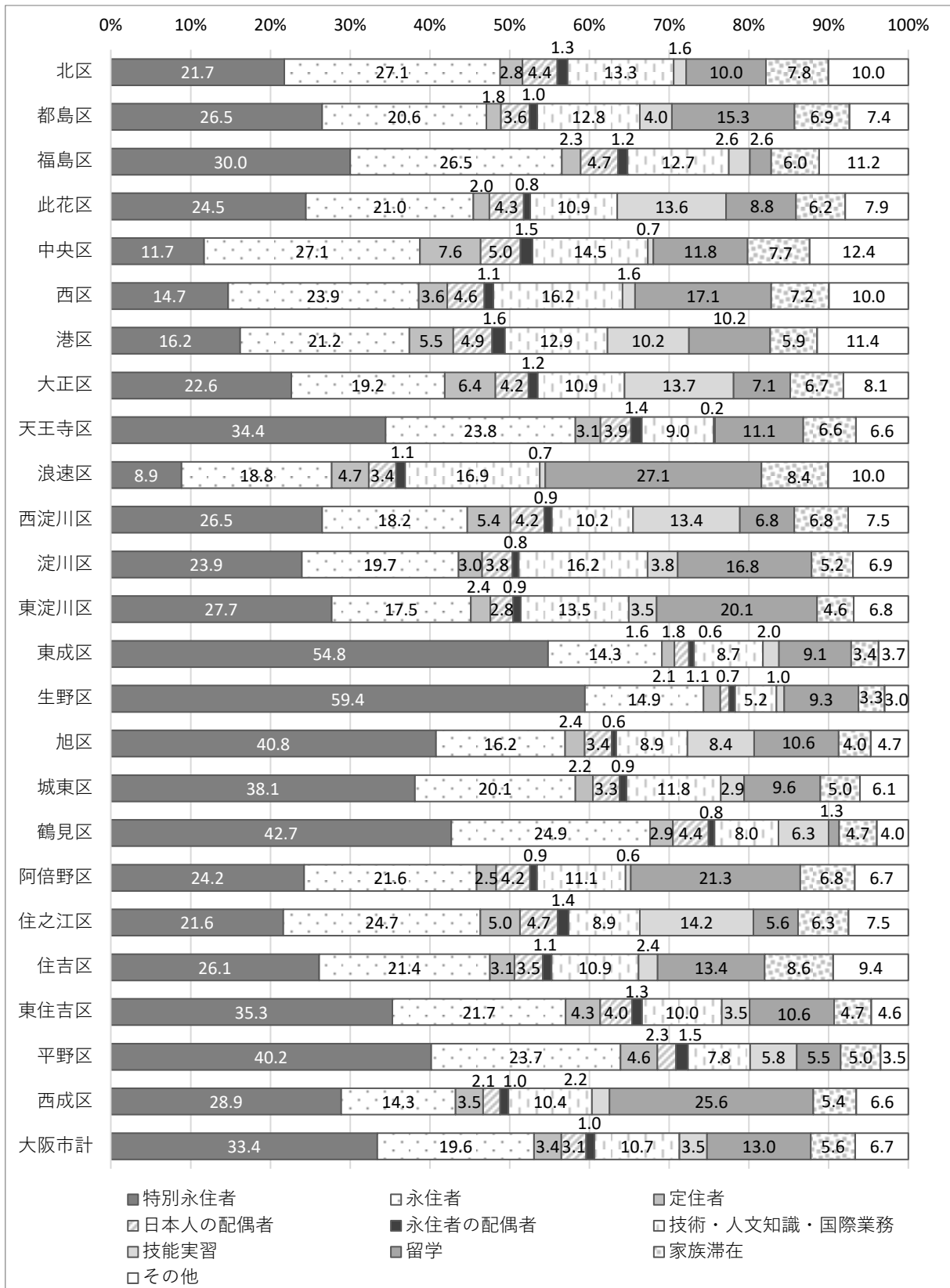
図表 6 区別外国人住民数と割合



(出所) 大阪市

(時点) 2020 (R2) 年度末時点

図表 7 区別在留資格別の外国人住民の割合



(出所) 大阪市
(時点) 2020 (R2) 年度末時点